

はじめよう経済学⁺ *Plus*

第9講 マンデル=フレミング・モデル(2)

講師：加藤 真也

今回(第9講)は…

- **資本移動**
- **BP曲線**
- **IS-LM-BP分析①(変動相場制)**
- **IS-LM-BP分析②(固定相場制)**

復習

理論上

① $BP = \text{ドルの増加}$

貿易収支↓

② 円高 ($e \downarrow$) $\Rightarrow EX \downarrow, IM \uparrow, BP \downarrow$

円安 ($e \uparrow$) $\Rightarrow EX \uparrow, IM \downarrow, BP \uparrow$

③ 自国 $Y \uparrow \Rightarrow \text{輸入 } IM \uparrow$

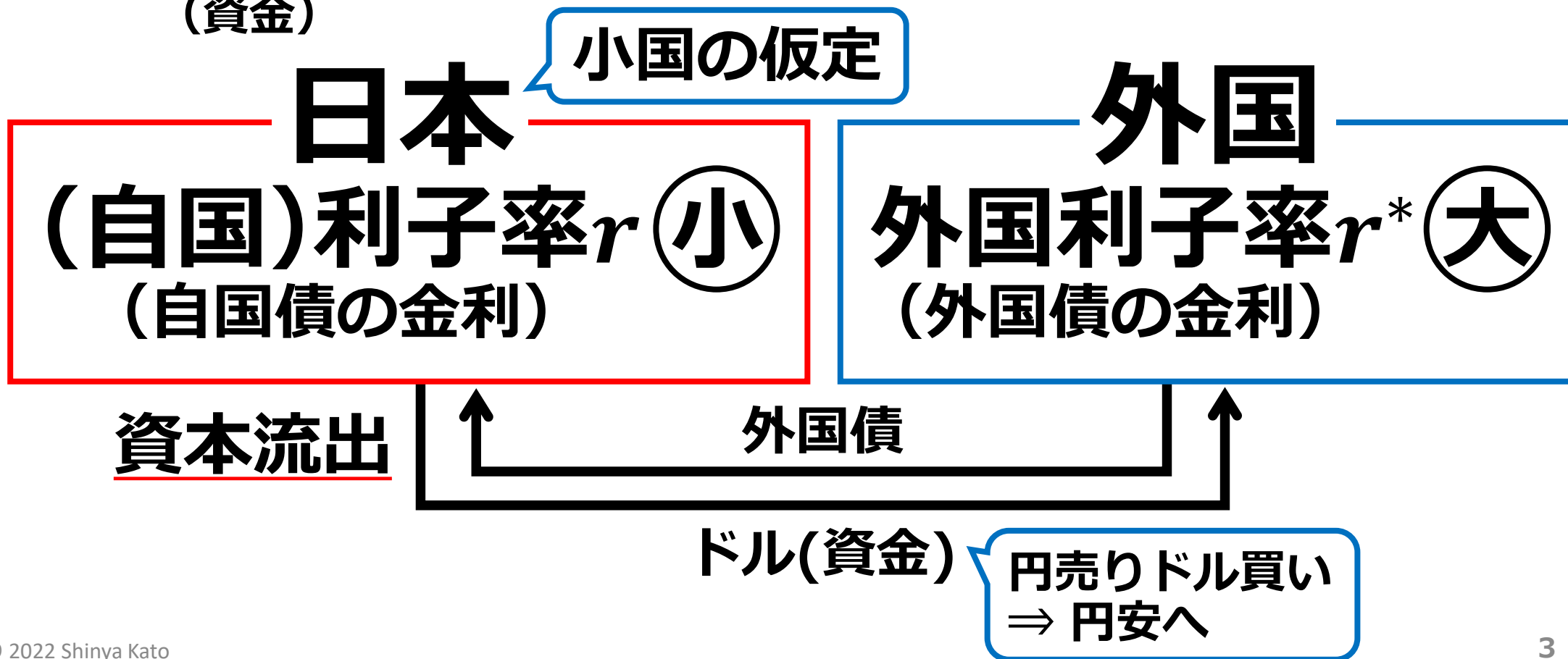
④ 円買いドル売り \Rightarrow 円高(ドル安)

円売りドル買い \Rightarrow 円安(ドル高)

資本移動

- 資本流出
(資金)

小国の仮定
: 自国は外国の国民所得や
利子率に影響を与えない



外国債の需要 \uparrow (資本流出時)

→ 自国債の需要 \downarrow

→ 自国債の価格 $P_B \downarrow$ ($r \uparrow$)

資本移動が...

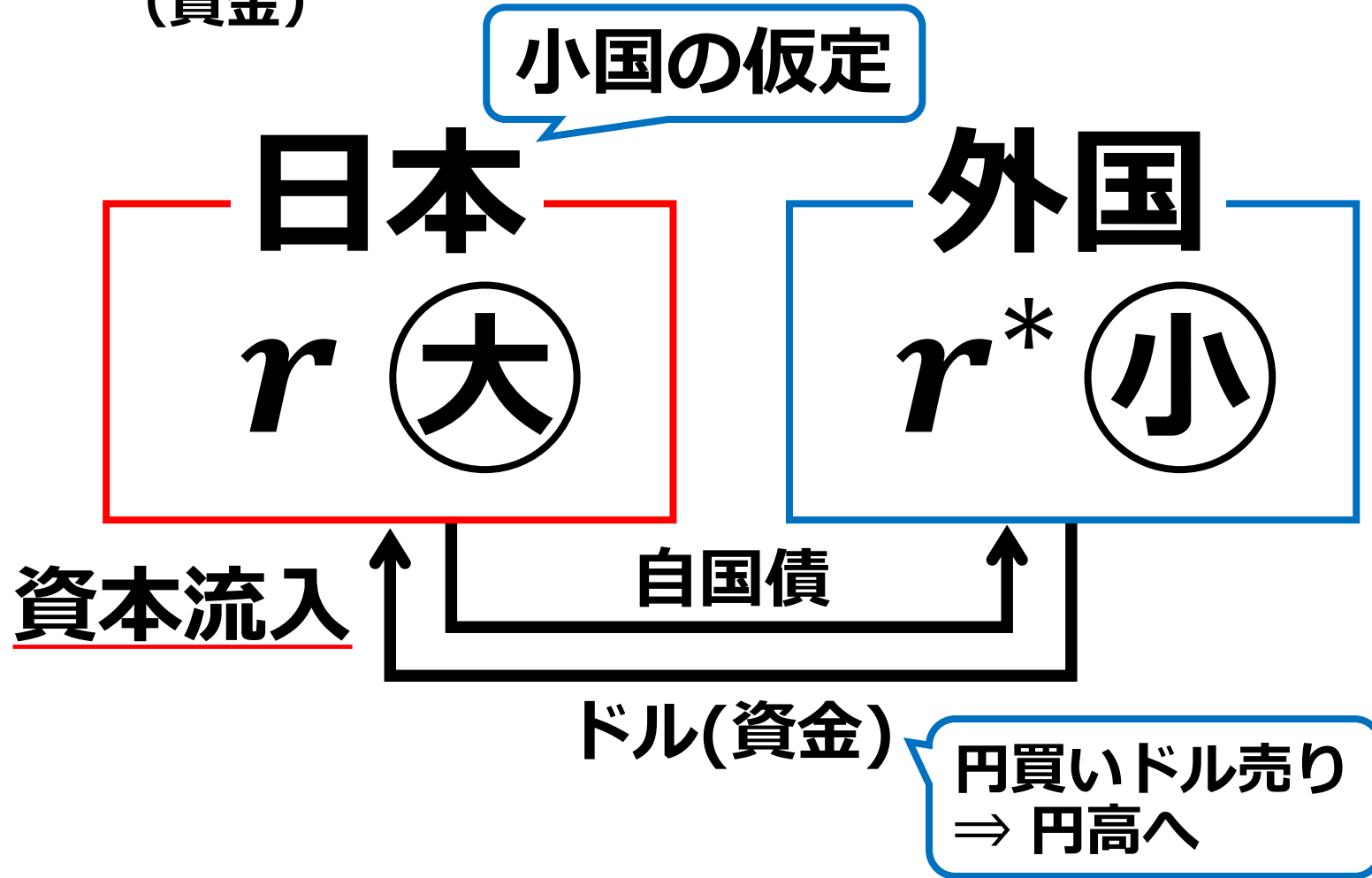
→ ① $r \uparrow = r^*$ へ : 完全

② $r \uparrow < r^*$ のまま : 不完全

③ $r < r^*$ のまま : なし

不変

資本流入 (資金)



自国債の需要 \uparrow (資本流入時)

\rightarrow 自国債の価格 $P_B \uparrow$ ($r \downarrow$)

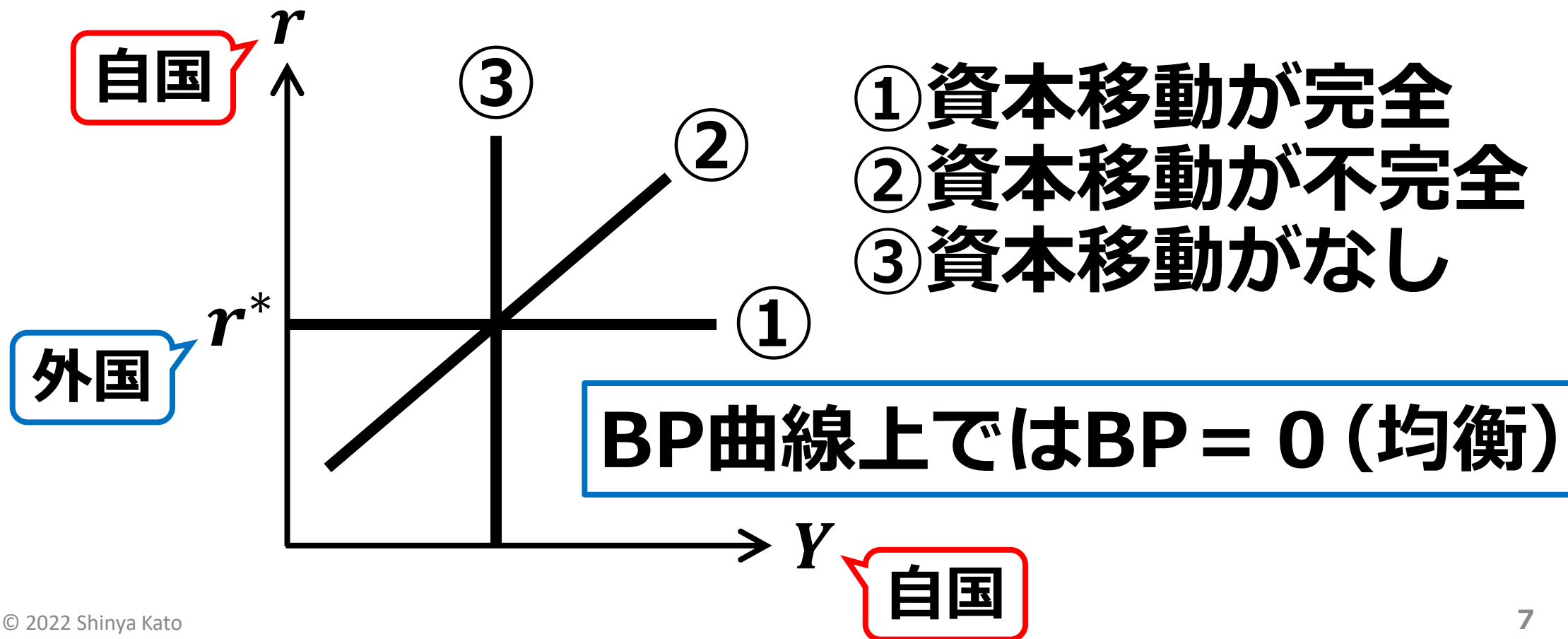
資本移動が...

- \rightarrow ① $r \downarrow = r^* \wedge$: 完全
- ② $r \downarrow > r^*$ のまま : 不完全
- ③ $r > r^*$ のまま : なし

不変

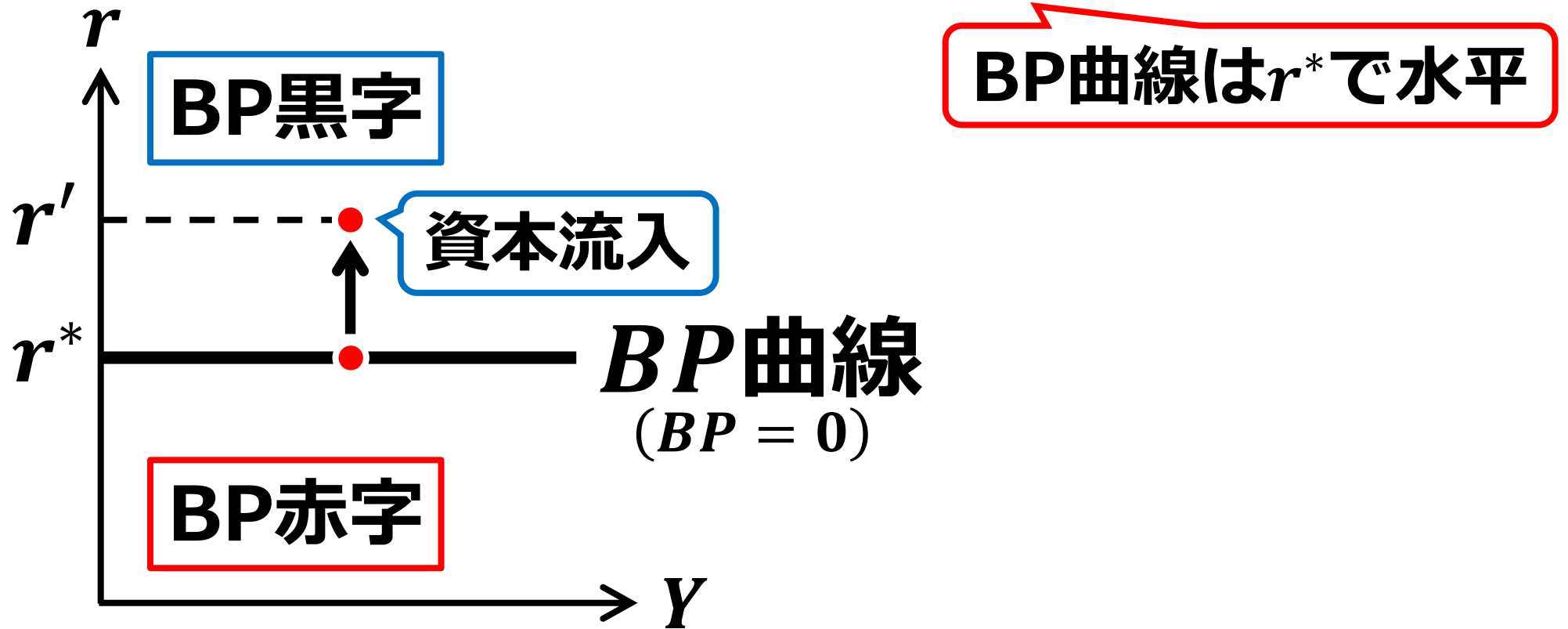
BP曲線 (国際収支均衡線)

⇒ 次の3パターンあり

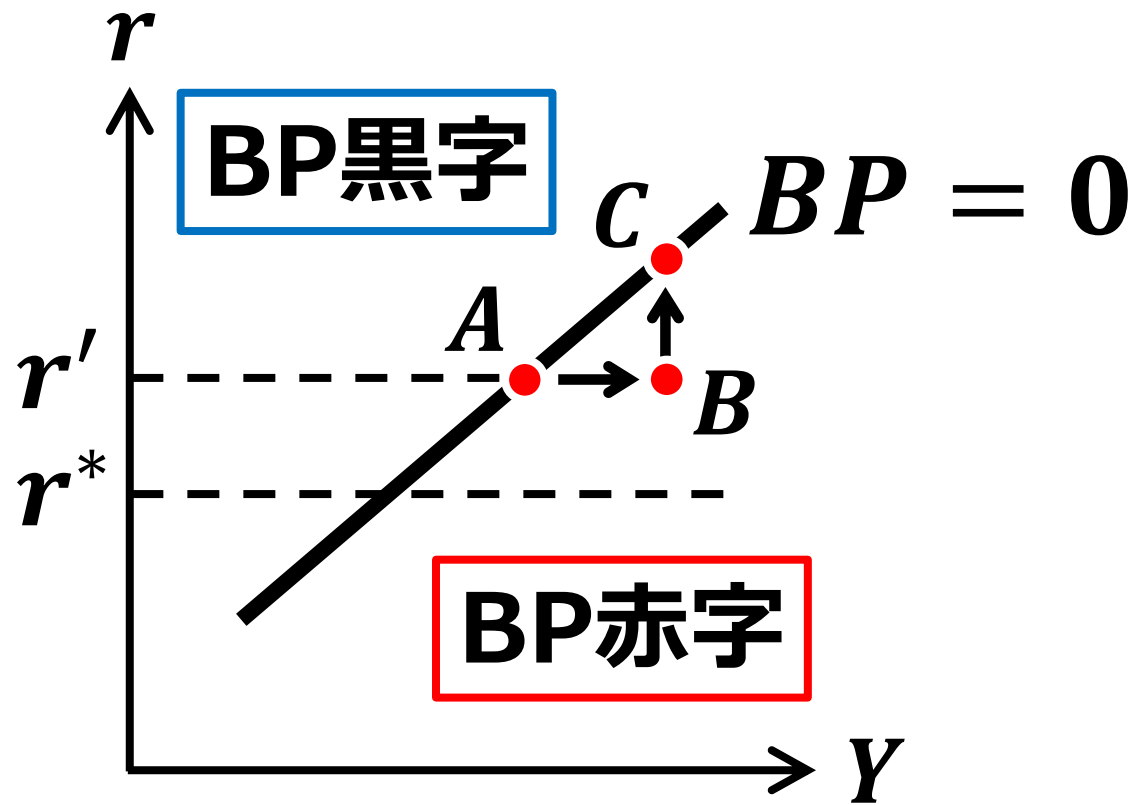


① 資本移動が完全

⇒ r と r^* が一致していないと
資本移動が続いてしまう



② 資本移動が不完全



Step1 点A : BP = 0

Step2 点A → 点B

r 一定で $Y \uparrow$

→ $IM \uparrow$

→ $BP \downarrow$: BP赤字

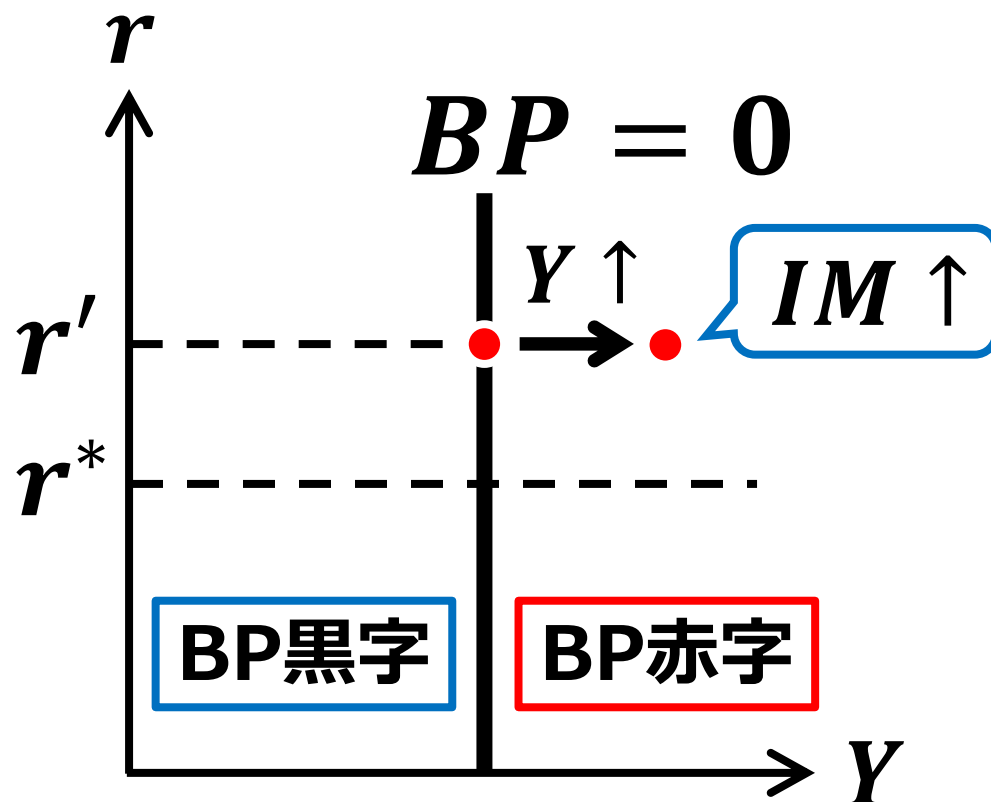
Step3 点B → 点C

$r \uparrow$ → $BP \uparrow$

Step4 点C : BP = 0

③ 資本移動がなし

⇒ r と r^* のズレが大きくても
資本移動がない



BP曲線は垂直

IS-LM-BP分析

⇒ 様々なパターンがある

マンデル=フレミング・モデル

変動相場制

① 資本移動が完全

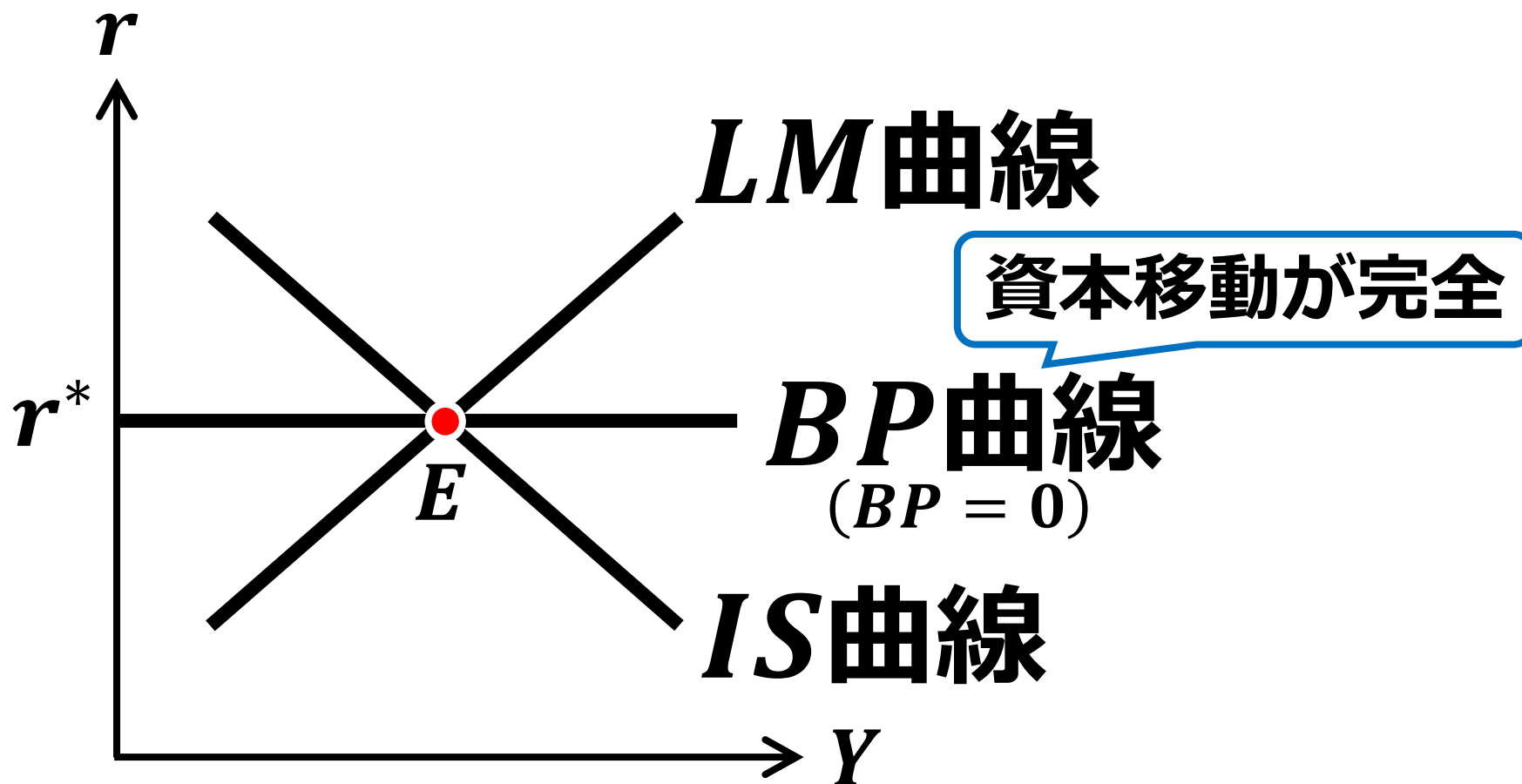
固定相場制

② 資本移動が不完全

- ・ BPの傾き < LMの傾き
- ・ BPの傾き > LMの傾き

計 8 通り

③ 資本移動がなし



点Eでは、財市場・貨幣市場・国際収支BPが均衡
(外国為替市場)

IS曲線の右シフト

- ① $G \uparrow, T \downarrow$ (拡張的財政政策)
- ② $EX \uparrow, IM \downarrow$ (貿易収支 \uparrow)

総需要 Y^D

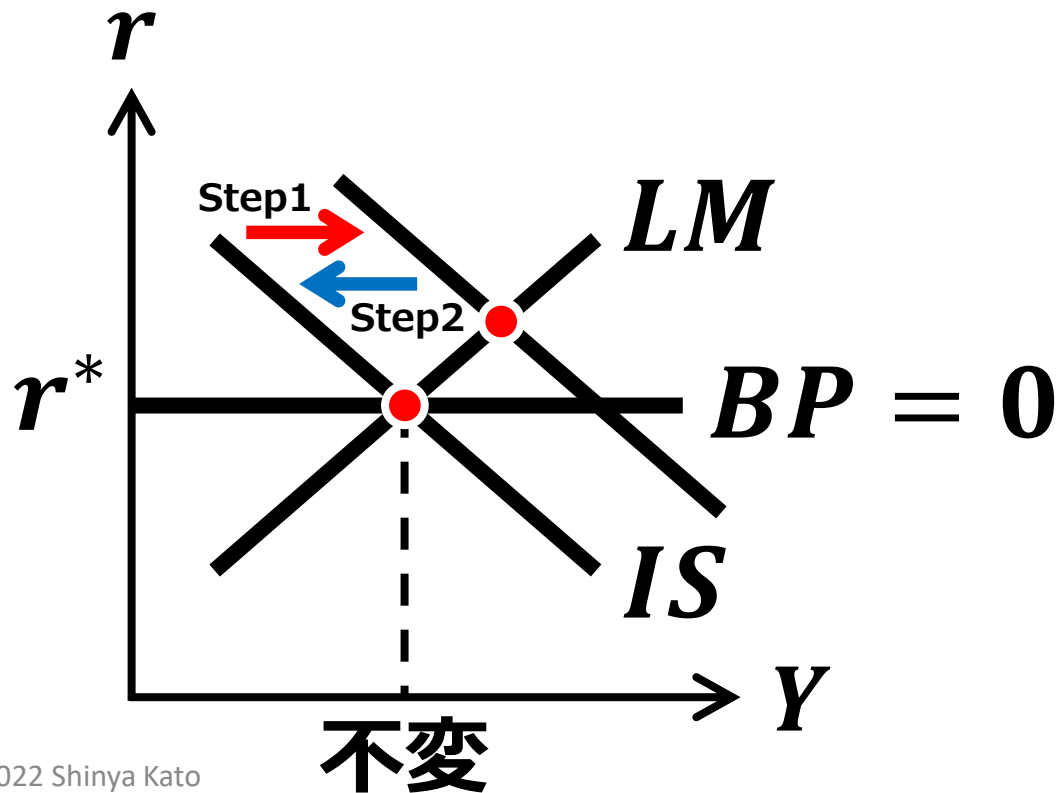
$$= C + I + G + EX - IM$$

$$\begin{aligned} C &= c(Y - T) + C_0 \\ &= cY - cT + C_0 \end{aligned}$$

マンデル=フレミング・モデル

(変動相場制、資本移動が完全)

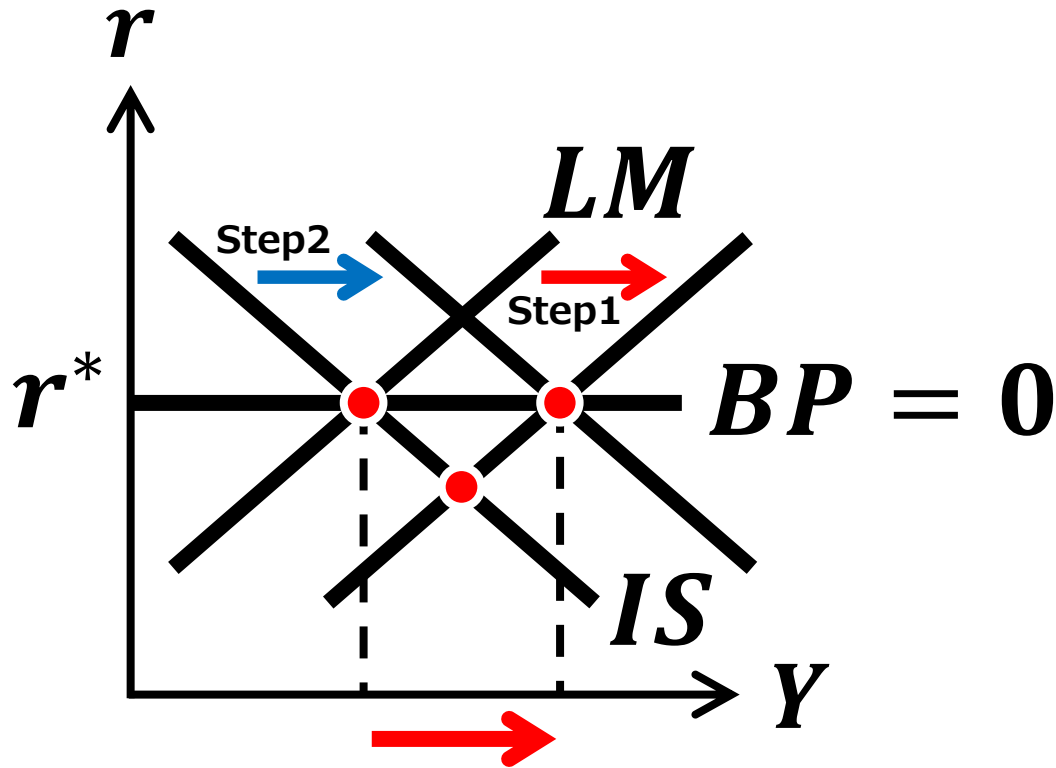
• 財政政策 ($G \uparrow, T \downarrow$)



IS右シフト $\rightarrow r \uparrow$
 $\rightarrow r > r^* \rightarrow$ 資本流入
(ドル)
 \rightarrow 円買いドル売り
 \rightarrow 円高 $\rightarrow EX \downarrow, IM \uparrow$
 \rightarrow IS左シフト
 $\rightarrow Y$ 不変: 効果なし

(変動相場制、資本移動が完全)

• **金融政策 ($M \uparrow$)**



- LM右シフト $\rightarrow r \downarrow$
- $\rightarrow r < r^* \rightarrow$ **資本流出**
(ドル)
- \rightarrow **円売りドル買い**
- \rightarrow **円安 $\rightarrow EX \uparrow, IM \downarrow$**
- \rightarrow **IS右シフト**
- \rightarrow **$Y \uparrow$: 効果あり**

為替介入

・ 円買い介入

： 中央銀行(日銀)が
保有するドルを市中の円と
交換すること

⇒ 日銀に円が回収されるので
マネーストック M ↓

LM左シフト

• 円売り介入

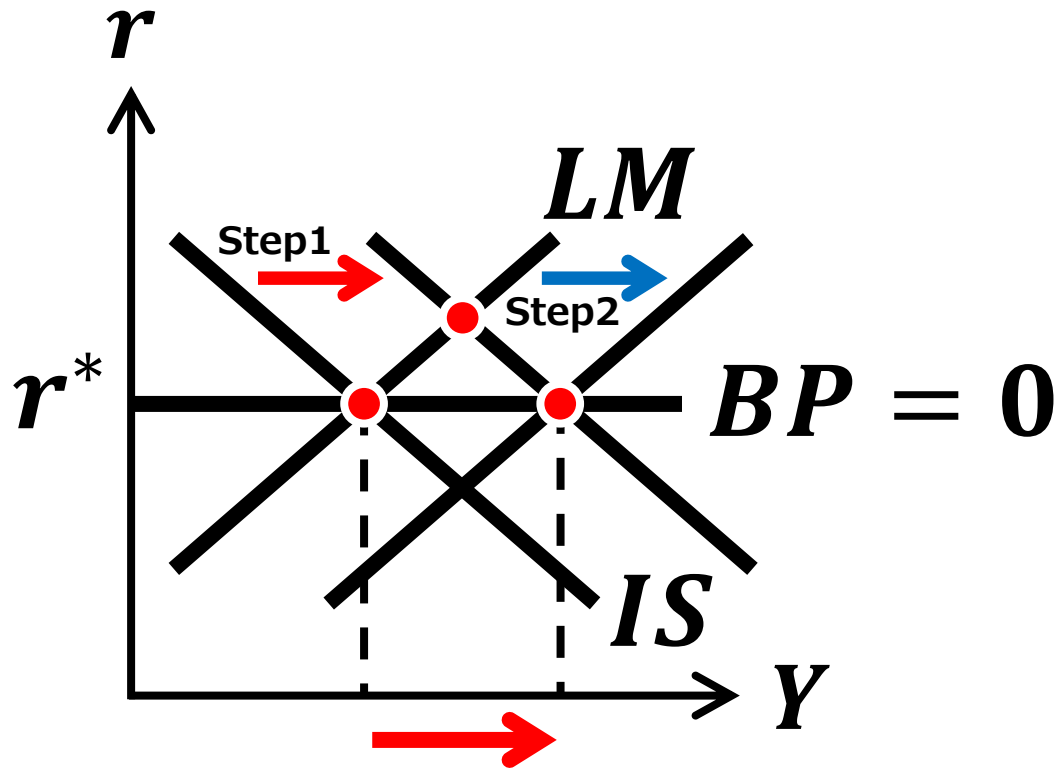
：日銀が円を市中のドルと交換すること

⇒ 日銀から円が放出されるので
マネーストック M ↑

LM右シフト

(固定相場制、資本移動が完全)

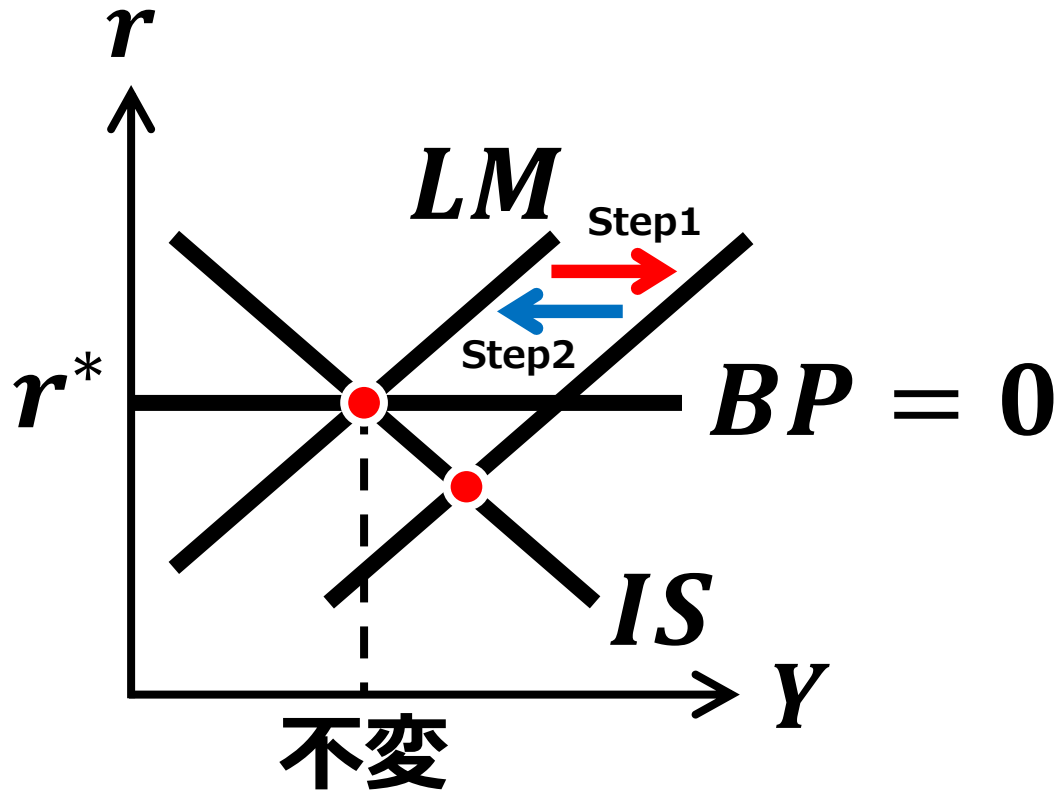
• 財政政策 ($G \uparrow, T \downarrow$)



- IS右シフト $\rightarrow r \uparrow$
- $\rightarrow r > r^* \rightarrow$ 資本流入 (ドル)
- \rightarrow 円買いドル売り
- \rightarrow 円高阻止：円売り介入
- $\rightarrow M \uparrow \rightarrow$ LM右シフト
- $\rightarrow Y \uparrow$: 効果あり

(固定相場制、資本移動が完全)

• 金融政策 ($M \uparrow$)



- LM右シフト $\rightarrow r \downarrow$
- $\rightarrow r < r^* \rightarrow$ 資本流出 (ドル)
- \rightarrow 円売りドル買い
- \rightarrow 円安阻止：円買い介入
- $\rightarrow M \downarrow \rightarrow$ LM左シフト
- $\rightarrow Y$ 不変：効果なし

ポイント (マンデル=フレミング・モデル)

変動相場制で
資本移動がしやすければ、
金融政策の効果**大**

覚え方 (資本移動が完全)

返金、来ない

変動 金融

有効

固定 財政

有効

次回(第10講)は…

- ・ 経済成長論の入門授業です
- ・ ソロー・モデルを学びます
- ・ 経済成長論では投資 I が重要な役割をします